

# あいち 食品工業技術センターニュース

## 2015年4月号

### 今月の内容

- 新任のごあいさつ
- 平成27年度 研究テーマ
- 平成27年度 新体制及び人事異動

### 新任のごあいさつ

センター長 児島 雅博



このたび、4月1日付であいち産業科学技術総合センター食品工業技術センター長に就任しました児島雅博です。新任にあたり、ご挨拶を申し上げます。

食の安全・安心が叫ばれて久しいですが、この4月1日にはその一環として新しい食品表示法が施行されました。栄養成分表示が義務化になり、アレルギーに関する表示も厳格化されます。マヨネーズやパンと表示してあれば卵や小麦と書くことを省略できましたが、これからは原材料を詳しく表示しなければなりません。その他にもいくつかのルールが変更されています。経過措置期間が5年あるものの、あまりのんびりとしていただけないのが、実情ではないでしょうか。

また昨年末から今年の初めにかけて、加工食品や大手ファストフード店の異物混入が報道機関に大きく取りざたされたように、年々、消費者の食の安全・安心への関心はさらに高くなっています。

愛知県では、(公財)科学技術交流財団に委託して「食の安全・安心技術開発プロジェクト」(<http://www.astf-kha.jp/project/project2/>)を平成23年度から進めています。

当センターもそのサブテーマの一つとして、超音波を用いた食品中の非金属系異物検出装置の開

発に参画しています。今年はプロジェクトの最終年度で様々な成果が期待されています。

当センターは、昭和31年に愛知県食品工業試験所として設立されて以来、関係業界のご支援・ご協力をいただきながら業務を推進してきました。平成24年1月に、あいち産業科学技術総合センターの食品工業部門として、組織改編されましたが、地域企業に対する技術相談・指導、依頼試験、研究、講演・講習会、情報発信等の幅広い技術支援を実施し、産業振興を図ることという使命は、設立から何ら変わりはありません。

あいち産業科学技術総合センターになり、本部に18機種の高高度計測分析機器が設置されました。これまで当センターでは分析できなかった事例に、本部で対応できることもあり、訪れる企業の方の問題解決や、当センターの研究にも幅広いアプローチが可能となりました。

食の安全・安心の確保、食品副産物・廃棄物の有効利用、新製品開発等々、皆様方が抱える技術課題の解決に職員一同精一杯ご対応させていただく所存です。皆様方のなお一層のご利用を是非お願いいたします。

